

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 11 月 20 日 (2008.11.20)

【公開番号】特開 2007-142567 (P2007-142567A)
 【公開日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-021
 【出願番号】特願 2005-330475 (P2005-330475)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

F 1 6 C 11/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/02 C

H 0 4 M 1/02 A

F 1 6 C 11/04 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 10 月 2 日 (2008.10.2)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子機器本体部と他の機器部とを回転可能に連結するヒンジ機構の前記本体部側に設けられ前記回転軸断面方向に凹曲面からなる反射面を有する第一の素子取付部と、前記ヒンジ機構の前記他の機器側に設けられ前記第一の素子取付部と対向するように凹曲面からなる反射面を有する第二の素子取付部とからなる通信部と、

前記第一の素子取付部及び第二の素子取付部の一方に設けられる発光素子と、

前記素子取付部の他方に設けられる受光素子と、を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記発光素子と前記受光素子との少なくとも一方が、
前記凹曲面上の前記回転軸中心とは異なる位置に設けられることを特徴とする、請求項 1 記載の通信装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、本体部と表示部の間で光信号の交換を行う電子機器において、該信号交換が通信部内の光反射を利用した光通信により行われる通信装置に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0009】

本発明は、上述の目的を達成するため、以下(1)と(2)の構成を備えるものである。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0010】

(1) 電子機器本体部と他の機器部とを回転可能に連結するヒンジ機構の前記本体部側に設けられ前記回転軸断面方向に凹曲面からなる反射面を有する第一の素子取付部と、前記ヒンジ機構の前記他の機器側に設けられ前記第一の素子取付部と対向するように凹曲面からなる反射面を有する第二の素子取付部とからなる通信部と、

前記第一の素子取付部及び第二の素子取付部の一方に設けられる発光素子と、

前記素子取付部の他方に設けられる受光素子と、を有することを特徴とする通信装置。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0011】

(2) 前記発光素子と前記受光素子との少なくとも一方が、
前記凹曲面上の前記回転軸中心とは異なる位置に設けられることを特徴とする、前記(1)記載の通信装置。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正11】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】